

第七回 湘南国際村 めぐりの森植樹祭！



当日の流れ

1、開会式の挨拶

(国際生態学センター長、レナフォ(ふるさとの森づくり協会)高野さん、神奈川県副知事 黒川さん、東京海上ミレア取締役 関さん、横浜国立大学名誉教授 宮脇昭先生)

2、宮脇先生の植樹指導

宮脇先生の指導で、まず苗の名前を覚えます。「トップにやらせるんだ。」と宮脇先生。葉山町長、横浜ゴム、サンライズ取締役の方々も壇上へ上がって、1本1本の苗木の名前を叫ぶ。壇上から「タブノキ!」、会場から「タブノキ!」。そして、植え方の指導をしっかりとしてもらいます。

こちらの企業のご協力のもと、植樹祭が無事行われました。

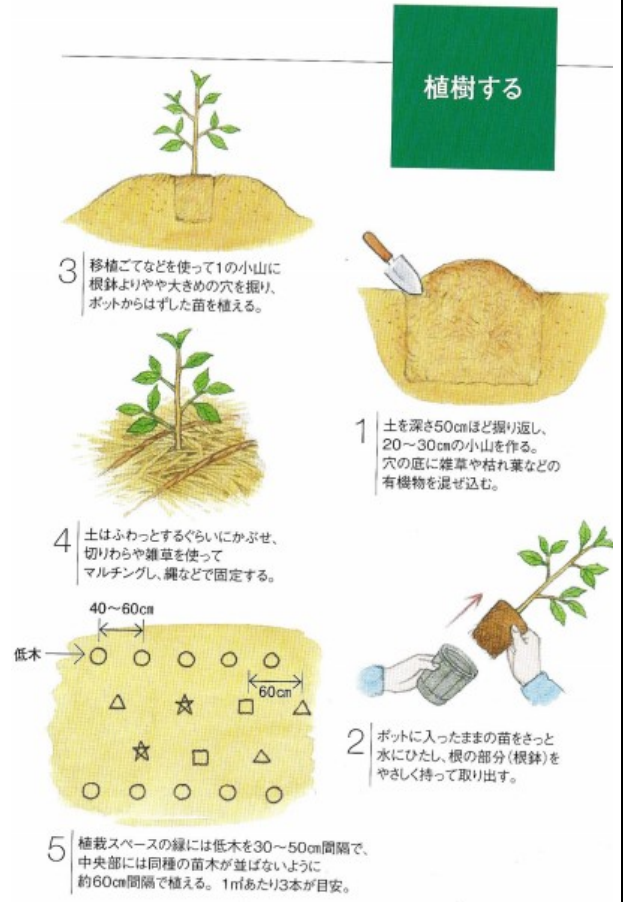
- 主催：協働参加型めぐりの森づくり推進会議
特別協賛：楽天生命保険株式会社
：東京海上ミレア少額短期保険株式会社
協賛：フィアット クライスラー・ジャパン
：ダスキンレントオール横須賀ステーション
資材提供：株式会社サン・ライフ（社会福祉法人進和学園）
：三井住友海上火災保険株式会社
：横浜ゴム株式会社
資金提供：公益財団法人イオン環境財団
後援：神奈川県・横須賀市・葉山町



3、植樹実践

下記の要領で行いました。

(出典：「森の長城が日本を救う」)



開催日時：

2013年6月5日(祝)

10:00~12:00

場所：神奈川県横須賀市 湘南国際村 めぐりの森

参加者：

地球の緑を守る会 湘南支部 奥平里美、たみ子、昌斗、山口さん、郡司さん



今回植えた樹種(分かる範囲)

高木	タブノキ、シラカシ、アラカシ、アカガシ、ウラジロガシ、ヤマモモ、スダジイ、ヤマザクラ
亜高木	モチノキ、クロガネモチ
低木	カマズミ、アオキ、カクレミノ、ムラサキシキブ、ツツジ

次回11月参加者募集中！

めぐりの森ってどんなところ？

三井不動産から県に無償譲渡された土地で、市民公募により失われた緑を回復する場となりました。平成22年度より、7回の植樹祭で3万3,000本が植えられています。

湘南国際村めぐりの森

湘南国際村めぐりの森(約100ha)は、三浦半島最高峰の大楠山(標高241m)に連なる緑のネットワークを形成する貴重な緑地です。

このかけがえのない自然を保全し、未来に残していくため、三井不動産は、三浦半島在来種の植樹による緑の復元や散策路の整備などを行い、平成22年3月に神奈川県に寄付しました。

現在、神奈川県では、植樹をはじめとする地域固有の自然に配慮した森づくりを、様々な企業や団体との協働により進めています。

※「めぐりの森」は、太陽の恵みを森林資源の活用から植樹・森づくりへと「循環」させていくことをイメージして名づけられました。

湘南国際村とは？

湘南国際村は、葉山町と横須賀市にまたがる約200haの区域です。昭和43年に三井不動産株が土地(当時はゴルフ場)を取得し、土砂崩れなどの災害が発生していたこの地域に適切な防災対策を行いながら、緑豊かな国際交流拠点として開発を進め、平成22年1月に整備を完了しました。

現在、湘南国際村には、「湘南国際村センター」をはじめとする11ヶ所の研修施設、2ヶ所の研究機関と住宅地が立地しています。

湘南国際村センター

貴重な自然を未来に残すために

三井不動産株は、この森の中から湘南国際村を静かに見守り続けてきた樹齢400年を超えるタブノキの古木(「かまくらと三浦半島の古木・名木50選」に選定)を未来に残していくため、「生命の樹」と命名し、タブノキの保全活動に協力しています。

※タブノキの古木については、良好な周辺環境を守る取り組みを行っており、現在直接ご覧いただくことはできません。

湘南国際村 三井不動産 生命の樹

問い合わせ先/ 神奈川県特定政策推進課 TEL.045-210-3270
緊急連絡先/ 湘南国際村センター 管理室 TEL.046-858-1200

アクセス

JR 逗子駅前発 京急バス 1 番乗り場より「湘南国際村センター」行きバスに乗車「湘南国際村センター前」終点下車 (約30分、片道340円)

植樹祭の情報はこちらから！

めぐりの森HP

<http://megurinomori.net/>

参加者の感想

自分にとっては日本で初めての植樹祭でした。想像していたより同年代や子供連れの方多く楽しくできました。本やVTRで植樹の方法は学んでいましたが、実際にやってみると思っていたよりも簡単でした。地味な作業な気がしますが、山の向こう側に見えた植樹して1年、2年経った森を見るとこれこそが森の再生の最高の科学だと思いました。(理科教員志望 大学4年生 千葉県)

参加してみて、先生方の話を聞いてみて環境問題とか自然破壊などがあり、それを本気でなんとかしようとして、僕も頭だけじゃなく実際に行動していかなければならないなと感化を受けました。

また、体験を通して、土や木に触れて日常ではあまりしないような事で、心がリフレッシュされました。周りの人達も生き生きとして、協力しながら楽しく活動できました。

これからも定期的にこのような活動に参加し、環境を守ると共に、自らの心身も養いたいと思えた1日、でした。

(体育教員志望 大学3年生)

はじめて、宮脇昭先生のもと、植樹をさせていただきました。

丁寧な植樹の仕方に、「1本1本愛を込めて植えなければいけないんだな」と思いました。(母)

ずっと、この植樹祭に来たいと思っていました。

担当していた指導員さんが、とても丁寧に細かく教えてくれました。

自分も勉強していたので、少しまわりの人に教えてあげることができました。(農業高校2年生)

私にとって、めぐりの森植樹祭に参加するのは4回目でした。

今回ははじめて、家族で参加することができました！

また、将来教師を目指している、現役の大学生の2名にきていただくことができ、本当嬉しく思いました！

お会いするのに数回目となる宮脇先生ですが、今回は宮脇先生の「ふるさとの森と一緒に植えましょう」というメッセージが、「切実な気持ちで、頭を下げて私達にお願いされている」ように感じられました。

(決して「植える！」と言われているのではなく。)

最後に集合写真を、本当にタイミングよく撮ることができました。

そのとき、1人1人に手を「ぎゅっ！」と握って頂いたのですが、その力強さといったら！大きくて温かい手でした。そして、「託されている」と感じました。

私が宮脇先生から学んだことは、(1)人に伝える前に自分が実践して見本をみせること

(2)何度も何度も、同じことを同じ人に、伝わるまで伝え続けること。

大変なことだけど、私は宮脇先生の「偉大さ」がやっと分かってきました。

6月15日~17日の、「植生工学士(ふるさとの森マイスター)」をとる決意をすることができました。

ありがとうございました。(湘南支部代表者)